

**茨城県西地域運営委員会
中山初夫委員長・北島嘉典副委員長からのメッセージ**

牧之原市のおもてなしは「満点」でした。志太榛原地域でも牧之原市でも、運営に携わる担い手やスタッフの連携が取れていて、参加者目線で考えてくれていることが伝わってきました。特に、交流する時間を多く取ってくれたこと、視察の前に歴史や背景を説明してくれたこと、現場の苦しい面などの生の声を聞いたことなど、とても印象に残っています。

農作物は、最初は右肩上がりでも、10年では必ず下がる時があります。農業にとって厳しい時代ですが、次の世代の若者にどう農業をつないでいくか、お互いにまた頑張りましょう。

次回のサミットは、「集まれ！ 未来の農業エンジン～常陸の国から世界に広がれ！ 日本の農業～」をテーマに、茨城県で開催されます。皆さまの参加をお待ちしています。



中山委員長（右）と北島副委員長（左）、市認定農業者協議会の山本会長（中央）



⑦_宿泊先のホテル「静波リゾートスウィングビーチ」では、市内の食材をふんだんに使用した料理が振る舞われた ⑧_ J Aハイナン女性部による「望」の呈茶 ⑨_市内の担い手による呈茶サービス ⑩_焼津市で行われた情報交換会で、志太榛原地域のマスコットとともに地場産物をPR

“ふろむ まきのほら” 完成！

牧之原市認定農業者協議会が作成した農産物パンフレット「ふろむ まきのほら」が完成しました。まきのほらの農産物、生産者、お茶、体験農園、直売所などを紹介しています。市のホームページからもダウンロードできます。



イチゴ



ガーベラ



トマト



メロン

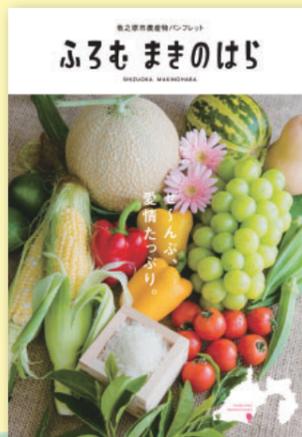


パプリカ



市ホームページQRコード

ふろむまきのほら 検索



第22回全国農業担い手サミットinしずおか
～全国の担い手が集い、ふじのくにで絆を深め、高め合った2日間～

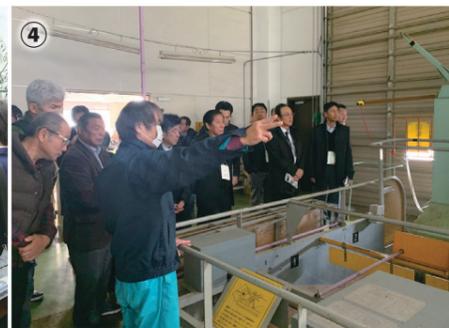


県内で開催された「全国農業担い手サミット in しずおか」には、全国から多くの参加者が集まりました。参加者は、市内の農業者や関係者からおもてなしを受け、牧之原市の「食と農」を味わいました。
問い合わせ 農林水産課 榛葉 ☎2618

牧之原市を堪能

「第22回全国農業担い手サミットinしずおか」が令和元年12月5日と6日の2日間、県内7地域を会場に開催されました。
「深めよう！ 農のキズナ 高め合おうふじのくにから」日本の未来のために「」をテーマに、約2千人の農業者（担い手）が参加し、担い手同士のキズナを深めました。

5日の夜には、志太榛原地域の情報交換会を焼津市内のホテルで開催。その後、市内のホテルに移り行われた「牧之原市交流会」では、参加者と市内の担い手が、農業について大いに語り合いました。6日には、参加者が県内7地域38コースに分かれ、現地研修会が行われました。市内でも3コース7カ所が視察先となり、活発な意見交換が行われました。
市の担い手は、宿泊先などと協力し、全国から訪れた参加者をおもてなしするために、2年間準備に取り組んできました。当日は、市内の旬の食材をふんだんに使ったメニューや呈茶などが振る舞われ、参加者は、牧之原市の「食と農」を堪能しました。



現地研修会の様子

①_株式会社大石農園。女性経営者として、魅力的な農業の新しい形を目指す ②_有限会社山本耕業。米・とうもろこしなどの栽培、パン・お菓子の加工、直売所「こめ香」の運営で地域農業を活性化 ③_なかじま自然薯園。牧之原台地で静岡在来の自然薯を40年以上栽培 ④_農事組合法人さかぐち。海外輸出に目を向け、大規模茶工場による安心安全なお茶づくりを地域で進める ⑤_株式会社おやさい。独立自営から法人の立ち上げまで、未経験者への農業研修などのサポートを行う ⑥_株式会社トマトップ。ブランドトマト「マキノハニー」を生産し、販路拡大に取り組む